

キラット さん



一口食べる愛しさに
しみこむ季節ひとひら
貴方と紡いだ夢を
きりたんぼ鍋の湯気に
抱きしめて……

皆さんもどこかで一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。ダックスムーンが歌う「きりたんぼ物語」は、発売以来、たくさんの方に愛され親しまれています。特に、きりたんぼ鍋を口にする機会が増えるこの季節は、市内の至る所で耳にします。

ダックスムーンの結成は今から22年前。お互いの音楽性に強く引かれたというお2人は、1983年から活動を開始。それ以来、ふるさとをこよなく愛し、ふるさとに根ざした活動を続けてきました。主に作詞とリードボーカルを担当しているのがムーン三浦こと三

浦栄一さん。一方、主に作曲とサ
ボーカルを担当しているのが
ダックス木村こと木村孝明さんで
す。

気になるグループ名の由来は「月が青白く輝く夜に、陽気にガーガー歌うアヒルたち」という説と「足の短いダックスフントのようなダックス木村と、月のように顔の丸いムーン三浦が出会った」という説がありますが、その真相は秘密。

仕事をしながらの音楽活動のため「せっかくだライブの依頼を頂いても、半分以上お断りしています」とのことですが、県内各地のイベントをはじめ、成人祭や学校からも「ぜひ歌って欲しい」と声がかかる人気ぶりです。

大館きりたんぼ協会からの依頼を受けて作った「きりたんぼ物語」

「おこう物語」発表！ ダックスムーン



三浦 栄一さん（天下町1区）
木村 孝明さん（桜町）

アメッコ市

とき・2月12日(土)・13日(日)

ところ・大町中央通りほか

ダックスムーンミニコンサート

とき・2月12日(土)14時~14時45分

ところ・アメッコ市特設ステージ



が発売されたのが2003年。この曲には「大館に住んでいる人たちも、もっと自分たちの街を誇りに思ってくれるように」との願いも込められています。

その願いが届いたのか「今では小さい子供から年配のかたまで、たくさんの方が口ずさんでくれます。なぜか知り合いも増えました」と笑顔で話す三浦さん。

たくさんの方が聞いてくれるきっかけを「CD発売後、駅や大型ショッピングセンター、商店街などで多くの人の協力があり、いろんな所で曲を流してくれたから」と振り返ります。

「きりたんぼ物語」のほかに、自作のCDを4枚出していますが、CDの売り上げの一部は、福祉事業などに寄付されています。「地域おこし・地域づくりの一助となるようなライブができればうれしい。歌を通して、少しでも地域の

力になりたい」とお2人。待望の新曲「おこう物語」もまもなく発表されます。アメッコ市と「おこう伝説」を取り入れながら、情緒にあふれた、ぬくもりを感じられるような曲に仕上がっているとのこと。2月12日のアメッコ市で初披露となります。

「今後も、ふるさとの良いところ、素晴らしいところに光を当てながら、自分たちらしく、楽しく音楽活動をしていきたい」と目標を語ってくれました。

お2人のふるさとへの「熱い思い」が歌となって、これからも多くの人の心に届けられていきます。アメッコ市へお出掛けの際は、ぜひ、ダックスムーンのコンスァートをご覧になってみてはいかがでしょうか。寒さが身に染みるこの季節。お2人のやさしい音楽が、皆さんの心を温めてくれることでしょう。